

P03 特集

「木と語る」

P10 Field Review

- 日本ガス株式会社
- 江崎グリコ株式会社・仙台グリコ株式会社

P14 特別対談

- 立命館アジア太平洋大学 学長 × 株式会社山武 会長

P16 azbilのある街

- いつまでも輝き続ける歴史都市【京都】





特集

木と語る

あるときは信仰の対象となり
あるときは恵みの木の葉を落とし
あるときは木陰を作り
あるときは道具になり
あるときは燃料となる。
近年はCO₂を吸収してくれることから
環境保全の要としての存在が
クローズアップされている。
そんなさまざまな顔を持ち
人々の暮らしになくてはならない木々と
じっくり語りあってみよう。

azbil

山武グループPR誌 azbil(アズビル)

2007 July 7

azbilは、グループの気持ちをひとつにするための、シンボルマークです。
グループ理念である「人を中心としたオートメーション」で、人々の“安心、快適、達成感”を実現するとともに、地球環境に貢献します」という思いを込めました。

News Head Line

もっと詳しく! → <http://jp.yamatake.com/news/index.html>

国内生産拠点を再編が完了

このほど国内生産拠点の再編が完了し、伊勢原工場、榑太信で制御機器関連製品の一貫生産体制が確立しました。この生産再編を行ったことで、生産リードタイムが大幅に縮小したほか、仕掛かり在庫が6割削減され、生産効率が向上しました。今後は、金門製作所京都工場での山武製品（流量計）の生産をはじめとして、金門製作所の工場を含めた全体最適の実現を図ってまいります。 → A

環境配慮設計の熱源廻り用制御弁を販売開始

6月6日に熱源廻り用制御弁「アクティブル™電動二方弁 高差圧対応形」を開発、販売を開始しました。高差圧の環境にも適した仕様を実現し、小型化（当社従来製品比較：高さ、重量約50%低減）を図ったことで、設置における省スペース、省資源（製品への使用材料抑制）にも貢献します。 → B

安全センター株式会社 新代表取締役社長就任

6月22日に安全センター株式会社 代表取締役社長に関根広和が就任しました。 → A

山武コントロールプロダクト株式会社 新代表取締役社長就任

6月25日に山武コントロールプロダクト株式会社 代表取締役社長に斉藤清文が就任しました。 → A

株式会社 金門製作所 新代表取締役社長就任

6月27日に株式会社 金門製作所 代表取締役社長に岩井昌秋が就任しました。 → A

問い合わせ先	
A	B
株式会社 山武 広報グループ	株式会社 山武 ビルシステムカンパニー コミュニケーションマーケティング部
TEL 03-6810-1006	TEL 03-6810-1112
FAX 03-5220-7274	FAX 03-5796-0795

散歩のついでに

街路樹や庭先にある木々の四季の変化を感じながらの散歩は楽しいものだ。
 最近健康への関心の高まりから手軽にできるスポーツとしてのウォーキングも盛んだ。
 そこで、せっかくなら、街や公園で見かける木の名前を覚えてみるのはいかがだろうか。
 散歩しながら出会える木と親しくなればさらに外へ出かけるのが楽しくなるにちがいない。

高温多湿の日本は木の生育に適している。森林面積が多く、木の種類も多い。だからこそ木をさまざまな材料として利用してきた。建築、家具、道具など。ところが、現代は、木と接する機会が減っているようだ。確かに、都会の中でも、数多くの木々をみかける。でも、葉に特徴があり名前を知られているイチヨウ以外にはあまり親しみが湧かない。それというのも、小さいころから自然の中で育ち、木と

親しんできたのならともかく、木に囲まれた環境で過ごす機会が少ないため、多くの人は木の名前を知らないからだ。私たちの生活に潤いと癒しを与えてくれる木と親しむためにも、まずは名前を覚えよう。週末、散歩にでかける際に、1冊のポケット図鑑を持とう。1週間に1種類の木を覚えるだけで、1年間で相当数の木を覚えることができる。散歩で出会える木とコミュニケーションができるようになれば、もっともっと心が豊かになるかもしれない。さあ、でかけよう、木と語ろう。



モクセイ(木犀)、モッコク(木斛)、モチノキ(躑躅)

伝統的な庭園に必ず使われてきたのが常緑樹のモッコク(木斛)、モチノキ(躑躅)、モクセイ(木犀)の庭木御三家。これに針葉樹のマツ(松)、落葉樹のサクラ(桜)、ウメ(梅)、モミジ(紅葉)などを配した庭が最も美しいと言われてきたそうだ。モクセイは香りがよいので、庭木として今もよく植えられている。



アラカシ(粗榧)

関西以西や四国、九州に多く、関西では5~6本で高さ2~3mに仕立てて庭木にする



マテバシ

スタジイよりやや南に分布。5種の中では葉、果実ともに一番大きく、広い公園向き



クスノキ(樟)

関東地方でもよく見かけるが、特に九州地方など、暖かい環境に適した、南の地域の代表的な街路樹。ケヤキなどと共によく植えられている



ニセアカシア(ハリエンジュ)

街路樹や公園樹として使われ、5~6月頃、強い芳香のある白い花を房状に咲かせる。幹には鋭い棘があるのでハリエンジュ(針槐)と呼ばれる



シラカシ(白檜)

福島、新潟以西の内陸部に多く見られ、防風・防火垣によく使われる。関東でカシといえばシラカシのこと。関西ではアラカシをさす



アオキ(青木)

日陰に強く、1年中青々している。冬に赤い実がなり、青と赤の美しさから今欧米で非常に人気が高い



スタジイ(椎木)

シイノキとよく言われるが正確にはスタジイ。潮風に強く福島以南の海沿いなどに多く見られる。古くから公園や庭木に使われてきた



メタセコイヤ

6500万年以上前に生息し、新世代第四紀に絶滅したと思われていたが、1945年に中国の四川省で発見された。別名アケボノスキ



アセビ(馬酔木)

万葉時代から愛されてきた花で、普通は白い花を咲かせるが、濃紅色のものをベニバナアセビという。馬などが食べると、酔ったようにふらつくので馬酔木



azbil Topics | 山武フレンドリー株式会社
地域の緑を守り、住みやすい環境をつくる

植木や草がきれいに刈り揃えられているのは、いつ見ても気持ちがいいもの。緑地や草花の管理など、手間ひまのかかる仕事を丹念にこなしているのが、山武の特例子会社である山武フレンドリーの社員たちです。山武フレンドリーでは、藤沢テクノセンター構内や、静岡県伊東市にある保養所の草むしりや枝切りなどの緑地管理活動を行っています。また、食堂から出る生ゴミを利用して肥料をつくり、社員や工場見学者そして納涼祭時に無料で配布しています。炎天下のなかでも懸命に働き、作業中も大きな声であいさつを交わす彼らの姿は、山武社員や地域の人々に元気を与えています。



藤沢テクノセンター生け垣の手入れを行う山武フレンドリー社員たち



埼玉県景観アドバイザー
 財団法人さいたま市公園緑地協会理事
 専門学校中央工学校造園建設科講師
 船越 亮二さん
 庭木、花木、果樹栽培の著作多数。元NHKテレビ「趣味の園芸」講師。2006年度からは、6歳から93歳まで約8200名が受験した「緑・花文化知識認定試験」の出題を考える緑花文化の知識認定試験専門家会議のメンバーでもある。



ご主人の小川康紀さんと、奥さまの千賀子さん。二人三脚で、やさしい木のおもちゃを提案している

木のおもちゃの多くはヨーロッパのメーカーによって作られている。中でもドイツは伝統がある。そのドイツの教育者で幼児教育の祖と言われるフリードリッヒ・フレーベルは「子どもは一粒の種であり、保育者や親は、自ら育つ力を助ける庭師の役である」と言い、子どもの自立には「遊びが重要だ」とも主張した。赤ちゃんは生後3〜6カ月でつかんだり握ったりできるようになる。音にも反応するようになり、筋肉も発達してくる。そうなるとおもちゃの定番だ。おもちゃは、見る、触れる、嗅ぐ、なめる、聞く、の五感を刺激する。特に3歳未満の赤ちゃんは、五感が刺激され発達していくことで内面も豊かになっていくと考えられて



特集 **木と語る**
木のおもちゃ

おもちゃの語源は“おもちゃあそび”。手に持って遊ぶことから生まれた言葉だ。安心や安全面に加え、温もりのある天然素材の木のおもちゃが注目されている。



ワイヤー上のカラフルなビーズを動かして遊ぶオランダ製のおもちゃで、ルーピングという。腕や指の不自由な人のリハビリのために開発された道具を子ども向けに改良したもの。ビーズの動きに子どもたちはくぎ付け。インテリアとしても人気がある



ボールを叩くと箱の中から転がって出てくるイタリア製のおもちゃ。こんなささいなことでも、子どもたちは達成感を感じ、飽きずに繰り返し遊ぶのだとか



引いて遊ぶ（プルトイ）はクラシックな木のおもちゃ。帽子のあひるは、カタカタと音をたてながら、首と羽を振ってついでくる



丸い木が動いて、その動きと音を楽しめる西ドイツ製のおもちゃ。表面の塗装にはビーワックスが使われている。ビーワックスとは、ミツバチが巣を作る際に分泌する蜜蝋のこと



オリジナルのおままごとキッチンが小川さんの父親である雅昭さんの手作り。大人気のキッチンは予約待ち。性別に関係なく2〜3歳くらいになると、おままごとをするようになる。実は男の子も大好きな遊びなのだ。親が「男の子のくせに…」とプレーキをかけてしまうのだとか。高額のキッチン台だが、Brookではリーズナブルなオリジナル商品を提供している



「木のおもちゃ Brook」
名古屋市瑞穂区中根町3-9-1
<http://www.e-brook.com/>

名古屋市内の閑静な住宅街にあるお店には、0歳から5歳くらいまでを対象とした約800アイテムの木のおもちゃがある。海外メーカーが中心だが、日本メーカーやBrookオリジナル商品もある。ご主人の小川康紀さんは元コンピュータエンジニア。「心が癒されるから」と木のおもちゃの販売に取り組むようになったとか。「当初は、僕を見ると子どもが泣いてしまうんです。ですが、今は泣かれなくなりました。自然体になったからだ」と自分では分析しています

いる。また、3歳以上になると、おもちゃの役割は創造力を養うものとなる。いちばんの例がおままごと。おままごとは観察力と表現力が必要だ。おもちゃは、子どもの自由な発想を邪魔しないほうがいい。それだけにシンプルな木のおもちゃが最もふさわしいのかもしれない。その丈夫さから親子2代で遊ぶことだって可能だ。やりたくてやった遊びで学んだり、身に付けた集中力や観察力、創造力と想像力などは一生の財産となる。そんなおもちゃを探すと、どうやら木のおもちゃになってしまいうらしい。言葉を話せない赤ちゃんさえ、木と語るのだ。



Brookオリジナルの積み木。国産のぶな材を使ったレンガ型積み木は、サイズが精巧に作られているので、大きな作品を作ってもバランスが崩れない



azbil Topics

環境教育支援で広がるネットワーク

山武の社会貢献事務局では地域交流がきっかけとなり、東京都渋谷区の常磐松小学校の環境教育支援を実施しています。一昨年は「自然をふやそう、地球のために」というテーマで、CO₂削減に取り組みました。そして昨年のテーマは「身近な自然」。普段は気づかない“自然”を発見し、その大切さを理解し、さらに自分たちに何ができるか？を考えるプログラムを実施しました。「〇〇に木があるのを知ってるよ」「〇〇公園はたくさん緑があるよ」など、子どもたちは地元を探検することでたくさんの自然を発見しました。また、渋谷地区で緑化活動を推進している「渋谷フラワープロジェクト」の皆さんとの交流も行われるなど、環境教育支援を通じたネットワークも広がっています。



CO₂で埋めつくされた地球。環境に良い活動を行うことでCO₂のシールを1枚ずつ取り外していく



プランター作りを体験する小学生



社寺建築の特徴は、曲線。木だからこそ作れる曲線の美しさが社寺建築の命だ。施工後の反りや伸び縮みなどの変化も計算する。この現場の棟梁を務めるのは西澤さんの次男・央泰さん。兄は文化財建造物保存技術協会のメンバーとして、現在、九州で文化財修理に取り組んでいる。



彫刻も伝統建築技術の一つ。後世に誇れる作品を目指す



水平材・垂直材・斜材の部材を組み合わせるときの接合部分を仕口という。この仕口部分の凸型をほぞ、ほぞが入る凹をほぞ穴といい、さまざまな形がある



屋根の木組みとそれを図面にした看板。この図面で、木の位置関係を把握する



基礎は自然石。石の形に合わせて木を削ってある



木材はヒノキが中心。人肌色の光沢のある美しさと独特の香り、強度と耐久性が必要な社寺建築に最も適した木材だ



粘りがあるマツは屋根の荷重を支える梁に使われる。木の特性を適材適所に生かす



一人前ともなると、ノミやカンナなどの道具は、軽トラック1台では運べないほどの種類になるそうだ



特集 **木と語る**

千数百年の昔から

日本の伝統建築は1000年以上もの歴史がある。加工しやすく、しかし強い木を巧みに使って木造建築を手がけてきた。



道具の中にはこんな小さいカンナも

場のように、社寺建築の設計、施工、監理を行っている。建築技術は1000年以上の間、脈々と伝えられてきた。近代になってさまざまな建築方式が出現したためか、設計から施工まで宮大工による建築ができる事業者はわずかしかない。鉄やコンクリートは強く、木は弱い。多くの人がそんなイメージを持っているに違いない。ところが、鉄骨や鉄筋コンクリートの耐用年数はせいぜい50年、長くても100年に満たないものがほとんど。ところが木の家は数百年の寿命がある。木の家は、空気が通ること、木材の腐朽を防ぎ、建物が長持ちするのだ。適度に手入れを行えば、千数百年を経てもその美しい姿は健在する。木は生き続け、私たちの心を和らげる。これまでも、そしてこれからも私たちは木と語る。

azbil Topics | 回収した分別ゴミを植樹に換算

湘南の海沿いコースをランナーが走る「湘南国際マラソン2007」が3月18日に開催され、山武は地元企業としてさまざまな形でこのイベントをサポートしました。その一つが会場内での資源分別活動。ゴミの分別回収を徹底的に実施すると同時に、環境活動の成果を分かりやすくするために、資源ごみである「カン」「ビン」「ペットボトル」の回収量によるCO₂削減量を計算し、それを植樹した場合のCO₂吸収量に置き換えるバーチャル植樹を実施しました。結果は、前夜祭と大会当日の2日間でカン170.6kg、ビン565.2kg、ペットボトル212.8kgを回収し、約130本分のバーチャル植樹が実現できました。



世界遺産となっている日光東照宮の造営にあたった棟梁を甲良宗廣という。滋賀県甲良町の出身で、その偉業をたたえる記念館では甲良家の資料が展示されている。甲良町は甲良大工といわれる宮大工発祥の地だ。

日本伝統建築技術保存会は、こうした伝統的な匠の技を守り、伝えることを使命としている。日本の木造建築は世界に誇る文化であり技術だ。会長である西澤さんは、伝統建築の設計、施工を手がける宮大工の3代目。祖父は甲良町の出身だ。小さいころから、建築現場が遊び場だったという。

案内してもらった現場は、西国三十三ヶ所巡りの第三十二番札所として有名な観音正寺。聖徳太子が開いたと伝わる寺だ。いま、本堂の隣で、永代供養堂の新築工事が行われている。西澤工務店は、国宝・彦根城や重要文化財の社寺の修理を数多く手がけるとともに、この現



日本伝統建築技術保存会 会長
文化財修理技術保存連盟 副理事長
株式会社西澤工務店 代表取締役
西澤 政男さん
文化財修理工事をはじめ、一般社寺の改修、新築工事をしながら、千数百年受け継がれてきた匠の技を次世代に継承しようと取り組んでいる。

Vol.1 日本ガス株式会社

多機能・高付加価値の LNGサテライト基地の実現に貢献

環境保全とより安定した供給を目指し、都市ガスの天然ガス化が推進されています。



クリーンな天然ガス供給を目指して

都市ガスの原料を石油系（LPG）から天然ガス（LNG）へと切り替える取組みが推進されています。天然ガスは、地球温暖化の原因となるCO₂や有害なNOxの発生量が少ないクリーンエネルギーとして国の基幹エネルギーと位置付けられています。ほとんどの大都市圏では都市ガスの天然ガス化が完了していますが、天然ガス基地とパイプラインでつながっていない地域での天然ガス化が現在の課題となっています。

鹿児島市を供給エリアに持つ日本ガスは、産ガス国で液化された天然ガス（LNG）を、LNGタンカーで荷受けし、市内外への都市ガス供給のほか、南九州一円の都市ガス事業者への卸供給も行っています。その際、パイプラインが敷設されていない地域での天然ガス利用に必要なのがLNGサテライト基地といわれる設備です。鹿児島県北西部にある

23MPaに圧縮された天然ガスを0.5MPaに減圧するバルブ（VSM形高圧微少弁）。これにより、これまで必要だったローリー車の加圧蒸発器が不要となりました



プラントの状態はHarmonas™で常にチェックできます

阿久根市を供給エリアとする阿久根ガスは、2007年5月1日に都市ガスの天然ガス化を実施しました。その支援を行ったのが、日本ガスであり、LNGサテライト基地の設計施工を担ったのがチヨダセキュリティサービスです。

多機能型 LNGサテライト基地

阿久根ガスでは約2000件のお客さまに石油系都市ガスを供給してまいりました。そんな中、大口需要家である阿久根市民病院の増改築が計画され、病院側は環境問題を考慮して都市



タンク内の天然ガス量を計測する差圧・圧力発信器 DSTJ3000™。液面測定（右）と圧力測定（左）



プログラマブルコントローラや、シングループコントローラなどが並ぶ LNG サテライト制御盤とL-CNG 充填制御盤

押し気化器を通してガスを充填するL-CNG方式は、初期投資および運用コスト削減が図られる方式として注目を集めています。こうした3つの設備の融合には、プログラマル調節計やガス事業法対応ガススクロ、自動調節弁などの山武の計装機器が貢献しました。

「当社が全国各地に設計・施工するプラントに山武製品を採用する最大の理由は、高い品質のセンサやコント

都市ガス用都市ガスメーターは金門製作所製。市民病院側にも金門製のルーツメータが使用されています



都市ガスのカロリーを計測する制御用カロリー計 SGA400 形

ローリー、そしてアクチュエータまでを一貫して供給いただけるメーカーであることに加え、そのサービスネットワークが全国展開されていることにあります。何かあった場合でも適切な初動対応が期待でき、長年の付き合いの中で、その期待にも応えてきてもらっています」（チヨダセキュリティサービス 吉本社長）

「3つの機能が融合し、かつ非常にコンパクトな設備でうらやましいとの声が、見学された他の都市ガス事業者からありました。多機能であることを生かしながら、365日24時間、安全と安心、そして快適な暮らしを提案していきたいと思っています」（阿久根ガス 折橋生産部次長）

阿久根ガスでは、エコステーションオープンを機にCNG自動車の販売にも努めています。日本ガスおよび阿久根ガスの積極的な事業展開は、地域の地球環境保全活動に寄与しています。

安全と安心、快適をアピールしてガスを拡販

オートガススタンド用のLPGは、都市ガス製造の際の熱量調整にも使われています。ローリーで輸送

「建設コストと運用コストを抑えたコンパクトな設備なら、小規模都市ガス事業者の天然ガス化がこれまで以上に促進できると期待できます」（福吉マネージャー）

こうして鹿児島市外では初めてとなるエコステーションがオープンし、市民病院をはじめとするお客さまへ供給する都市ガスの天然ガスへの転換が完了しました。

日本ガス株式会社



設立：1941年
社：鹿児島市中央区8番地2
従業員数：246名（平成17年度）

日本ガス株式会社
代表取締役社長
中間 兼市氏

広域産業用グループ
グループ長
長崎 正巳氏

総合企画グループ
新技術開発チーム マネージャー
福吉 保弘氏

株式会社チヨダセキュリティサービス
代表取締役社長
吉本 隆男氏

阿久根ガス株式会社
生産部次長
折橋 光徳氏

都市ガス事業を核としながら総合エネルギー企業への進化を目指し、南九州エリアのエネルギー供給拠点として安心・安全・快適な暮らしの実現に貢献しています。

Application Review

トレーサビリティシステム
「スーパー管理食」

食品工場向けのトレーサビリティシステム。「必要な部分」から「工場全体」まで段階的な構築が行え、大きな初期投資をしなくても導入できるのが特徴です。食品工場特有の課題を解決するノウハウが詰まっています。

仙台グリコ株式会社



所在地：宮城県加美郡加美町
菜切谷字山道3-95

創立：1970年8月21日
(グリコ仙台アイスクリーム株式会社として設立。2001年に業態と社名を変更)

従業員数：172人 (2007年4月1日現在)
事業内容：カレーやどんぶり、スープなどのレトルト食品の製造



仙台グリコ株式会社
代表取締役社長
岡本 春実氏



品質保証室 室長
檜野 善一氏



製造課
佐々木 高行氏

江崎グリコグループの持つ13の生産拠点の一つで、グループ唯一のレトルト食品製造工場です。アイスクリーム工場からの業態変更を機に導入したトレーサビリティシステムを積極的に活用し、お客さまに「おいしく、安全で、安心な製品」をお届けしています。

歴が管理できるトレーサビリティ機能にとどまらず、作業ミス防止、原材料の賞味期限管理などを含めた在庫管理を行うことができるシステムの導入を検討しました。システムを積極的に使いたいという要望に応えたのが、山武のトレーサビリティシステム「スーパー管理食」と、装置の状況を常時把握できる協調オートメーションシステム「Harmonas」でした。

「トレーサビリティシステムの構築は生産現場をよく理解しているベンダーがいいと考えていました。山武は、現場計器から制御システム、さらにはMES (Manufacturing Execution System)・製造実行システム)までを取り揃え、生産現場に精通しています。その結果、システムありきではなく、仙台グリコの現場に合ったシステムを作り上げることができたと思っています」(檜野室長)

新たに、入庫の際パレット単位で

在庫を管理する「倉庫ラベル」や、一度開封した原材料の賞味期限管理を行うための「容器管理ラベル」という概念としくみを導入したことで、安全で確実な管理が可能になりました。

「また、新商品の導入などで頻繁に行われるラインの組み替えの時、スーパー管理食やeAmonasの設計変更を社内で行えることも選定の大きな理由でした。納入後に出てくる細かい要望にも、山武は現場目線でその都度応えてくれる。文字通り二人三脚でシステムを構築してきました」(檜野室長)

ヒューマンエラーの防止から改善や経営に役立つツールに

「複雑な消費期限の計算も日付を入力するだけでできるようになったため、それまで毎月3日費やしていた原材料の棚卸作業が必要なくなりま

した。また、ロットを調べてほしいという依頼についても、原材料ロットから製品ロットまで、すべてのデータが蓄積されているため、わずか数十分で必要な情報を提供できるようになりました」(佐々木氏)

ミスの確実な防止に役立つ上、充填ラインでは1分ごとに違うロットナンバーが印字されるなど、手書きの時代には考えられないほど詳細に原料や製品を管理することができるようになったことも喜ばれています。

「ラインで働く従業員もシステムへの入力や確認を通して、自身が生産管理を担っているという意識が高まってきました。今後はシステムに蓄積されたデータを、現場の一人ひとりがもっと活かせるようにしていきたいですね」(檜野室長)

「今後、品質に関する消費者のニーズはさらに高まるでしょう。今、食品業界そのものに対する信頼性が問われています。業界全体として取り組みが進んでほしいと思っていますし、私たち自身さらにデータを活用していくことで、消費者の意識を先取りしたいと考えています」(岡本社長)



装置の状況を常時把握できるHarmonas。装置の情報を電光掲示板に表示し、必要な情報を作業中に把握できるようにしています

Vol.2 江崎グリコ株式会社・仙台グリコ株式会社

トレーサビリティシステムの導入で
日々の生産にさらなる安全・安心の付加価値を

高まり続ける「食の安全」への関心に応えるため、トレーサビリティシステム「スーパー管理食」を導入。徹底した現場の視点でシステムを構築し、すべての商品の品質を保証できる体制を取り続けています。



各工程でラベルをモバイルに読み込み、正しい品目がきちんと揃っているかチェック。すでに確認には欠かせないツールとなっています

消費者のニーズに応え、
確実に良品を届けるために

江崎グリコの生産拠点の一つ、仙台グリコは1970年に江崎グリコの冷菓生産の拠点として、東北新幹線の古川駅から車で約20分の雁原工業団地に隣接して設立されました。2001年からはアイスクリームからレトルト食品の工場に業態を変更し、社名もグリコ仙台アイスクリーム株式会社から現社名 仙台グリコ株式会社になりました。江崎グリコとしても近年レトルト食品の需要増に対応し、自社ブランドの確立に本格的に取り組むことになったのです。

最初は数品目から始まった生産は、今では各種のカレー、どんぶり、スープなど、50種あまりの商品を生産するまでになっています。一日の生産量は約14万食。江崎グリコ唯一のレトルト食品工場として、伸び続ける需要に応えてきました。

仙台グリコがレトルト食品工場としてスタートしたちょうどその頃、「BSE問題」や「異物混入問題」が発生し、「食の安全」に対する消費者の関心が高まってきました。江崎グリコとしても品質管理マネジメントである「ISO9001」や、食品の安全・衛生管理マネジメント「HACCP」の認証を取得するなど、安全・衛生管理体制の強化を図っており、



仙台グリコでは現在50種類の商品を生産しており、原材料は約170種類にもなります

その一環としてトレーサビリティシステムの導入が検討されました。「当時、江崎グリコではISO9001の認証を取得するだけでなく、全数品質保証体制を築こうとしていました。製品が問題なく生産されて、かつそれを保証するためにトレーサビリティシステムを導入したのです。グループの一番手としてシステム導入に着手した2工場の一つが仙台グリコでした」(岡本社長)

商品のトレースだけでなく、現場で役立つシステムとして

今回、仙台グリコでは、工程ごとの原料受入、計量、投入データなどの履

私たちは、「人を中心としたオートメーション」で、人々の「安心、快適、達成感」を実現するとともに、地球環境に貢献します。

編集後記

突然思い立って徳高の原生林の中へ癒されに行ってきました。何をするでもなく、ただただポーッと木や空を眺め溪流の音を聞きながら本を読んだり散歩をしたりしました。空気の違いが面白い、木の甘い香りがします。ただそれだけなのに、ものすごく元気になりました。森には人を癒す力があるようです。みなさんも日ごろの喧騒を忘れて森の中へ癒されに行ってみませんか？気がついていない自分の一面を発見できるかもしれません。(akubi)

山武グループPR誌「azbil」をご愛読いただき、ありがとうございます。

- 本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。
- ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

■お問い合わせ
〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
株式会社 山武 広報室 azbil 編集係
TEL: (03) 6810-1006 FAX: (03) 5220-7274
E-mail: azbil-pr@jp.yamatake.com

- 発行日：2007年7月1日
- 発行：株式会社 山武 広報室
- 発行責任者：須原 一郎
- 制作：産業編集センター

山武の取組み

本年4月に韓国山武に入社した立命館アジア太平洋大学（以下 APU）卒業生にお話を伺いました。



韓国山武株式会社 李英朱

APU で学んだ国際感覚でチャレンジします

日本にいながら、国際的な環境で学ぶことが出来るという点に魅力を感じて、APUを選択しました。APUでは、どの授業も日本語もしくは英語で実施されており、学生たちは入学時にどちらの言語を主とするかを選択します。私は英語での授業を選択しましたが、日本語は必修科目として1～3年生でしっかり学びました。第二外国語として中国語を選択しましたが、APUには中国からの留学生も多く、まさに生きた中国語を身に付けることができました。

3年生になると企業の情報がたくさん入ってくるようになりました。学内でも企業の説明会がたくさん開催され、大学のキャリアオフィスも積極的に支援してくれるほか、その気になれば、ライブラリーで企業の情報を得ることもできます。私もいろいろな企業の説明会に参加しましたが、自分の能力を發揮できそうだと感じたことと、社員を大切にしてくれそうな社風に惹かれて、ここへの就職を決めました。なぜなら先輩から「会社が自分を求めているか、そして会社と気が合うかが大切」とのアドバイスをもらっていたからです。一日も早く、グローバルのステージでチャレンジしたいと思います。

育むところにあたります。そしてその夢をかなえる場が就職先であり、職場であることは間違いありません。しかし私は学生に、たとえささやかであっても学生生活の中で夢の実現を経験させたいと考えています。その達成感が長い人生を力強く歩んでいく原動力になると信じているからです。そのために大学と企業との協同が必要なのです。例えば、企業において日々の研究によって蓄積されたデータが、大学との連携によって実用化できることもあろうかと思えます。若者達の夢が新たなビジネスのヒントを生み出したり、技術開発の可能性を広げることにつながると思えば、これ以上の人材育成の手段はありません。

佐藤 実は先ほど、キャンパス内を見学させていただきました。さまざまな国の若者が集い、活発にコミュニケーションをしている姿に頼もしさを感じました。これほどインターナショナルな学校は、いままで日本にはなかったですね。ベトナムとインドの学生さんでしたが、声をかけると礼儀正しく明るくあいさつをしてくれました。アジアの学生さんはいさつや笑顔での応対など、人としての基本ができている。この大学で学ぶ日本人学生にとって大きなインパクトであると感じましたし、得るものも大きいと思います。

佐藤 視野を広げたり、人の心を知ったり、さまざまな考え方を形成できるソフトウェアがAPUにはあります。このソフトウェアを上手に活用することで、企業はさらに強くなれるはずで、高い志を持つ現場に、若い創造力豊かな若者を導入すれば、技術開発へとつながるでしょう。大学と企業の協同の場からは、これまでの私たちが持っていなかった何かを持つ機会になるのではないかと思います。今日は、ありがとうございました。

カセム学長 こちらこそありがとうございました。今後ともご協力をお願いします。



株式会社山武代表取締役会長 佐藤良晴

立命館アジア太平洋大学学長 モンテカセム氏

産学連携してグローバルに活躍する人材を育成

21世紀の国際社会をリードする学生を育て、アジア太平洋の未来創造に貢献するための人材の養成と新たな学問の創造を目指す立命館アジア太平洋大学（以下APU）。山武は企業アドバイザーとしてAPUをサポートしています。この度、APUのアドバイザー・コミッティ委員である佐藤会長が大分県別府市にある同大学を訪問し、カセム学長とグローバル人材育成について意見交換をしました。

現場力の育成が課題 佐藤 当社は、お客さまの課題やニーズを的確につかみ、その問題解決に取り組みむことで、人々の暮らしの安心や快適を実現することを使命としています。その使命を遂行する上で大切なのが現場力です。当社はアジアを中心にグローバルでビジネスを展開していますが、ど

のエリアであろうとこの現場力重視は不変です。各現地法人とも極力ローカルな人材を採用したいと考えていますが、企業文化ともいえる現場力育成が大きな課題となっています。カセム学長 私たちは社会ニーズに沿った人材育成の責任を果たせるよう、さまざまな取組みに着手しています。その中のひとつが、現場力を学生に理解させることです。そのためのカリキュラムとして、積極的に学外で学ぶ機会を設けています。たとえば、企業や科学技術関連施設などでインターンシップとして実際の現場で創造力や適応力を習得するのです。こうしたカリキュラムを充実させるためにも、企業のご協力は欠かせないことで、し、将来的には、ある企業の固有なニーズに答えられるプログラムも用意していきたいと考えています。

APUとの交流で人材育成の土壌づくりを 佐藤 日本や日本企業の将来を考えると、アジアの若い皆さんに期待するところが大きい。グローバルなビジネス展開や技術開発などにぜひ力を發揮してほしいと考えています。そのためには、仕事に夢や希望を持って取り組める環境づくりが大切です。志ある学生を育成するAPUでのユニークな教育を、私たち企業がその夢や希望が実現できるようなバックアップする。こうした人材育成の土壌づくりのためにもAPUとの交流を今後もぜひ進めていきたいと考えています。カセム学長 たいへん心強いお言葉をありがとうございます。アジア周辺地域には大勢の若者がいて、年々豊かになるアジアの中でさまざまな夢を持つようになり、ます。大学は若者達の夢を創造し、



2000年4月、「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として大分県別府市に開学。従来の日本の大学にはなかった画期的な教育システムとカリキュラムを導入し、学生も教員も約半数が外国籍という日本で唯一の本格的な国際大学。

アドバイザー・コミッティ・ライブラリー内にある山武ブース

この絵は、社団法人発明協会が子どもの自由奔放な発想を広く集めた「第28回未来の科学の夢絵画展」の作品の中から、同協会のご協力を得て掲載し、表紙に特徴的部分を拡大しています。



【えび車で空でも海でもどこでもいけるといいな】
■柴山 華乃子さん
■緑が丘・第二幼稚園
大きなえびの車に家族みんなに乗って、海の中や空の上にドライブしたいいな。



azbilの拠点がある街を紹介します。

“ 京 都 ”



いつまでも輝き続ける
歴史都市

Kyoto

2006年の京都への観光客数は4700万人強。5年連続で過去最高記録を更新している。潤いやゆとり、癒しなど文化的、精神的な充足感を満たしてくれる京都ならではの魅力にたくさんの方が引き付けられるからだろう。国宝建造物や特別名勝庭園および周辺の風致景観が保護されている神社と城17軒が、「古都京都の文化財」として世界文化遺産に登録されたことも大きな要因だ。加えて、外国人があこがれる町家、目でも味でも四季を味わえる京料理など、京都には、先人の築きあげた優れた伝統と文化がある。

とはいえ、京都には進取の気風と改革の精神を持ち、常に新たな文化や産業を取り入れる進歩的な面もある。茶の湯や西陣織は、当時、最先端の文化だった。

そんな京都人気質が表れているのが豊臣秀吉の天下統一後に開設された錦市場。初物を指す

「はしり」はこの錦市場から生まれたと言われている。

かつて産物を大阪から伏見まで舟で運んでいたころ、初物の魚を走って市場へ届けていたことが由来らしい。みやびな京料理から庶民のおばんざいまで、錦市場はまさに京の台所。味にうるさい人々から愛され続けながらも、最近の食歩き文化を取り入れたお店やイートインスペースを設けたお店も増えている。

伝統を守り続けながらも、新しいものをいち早く取り入れるのが京都人の気質なのだ。京都は時代に合わせることでいつまでも輝き続ける。



azbil azbilは山武グループのシンボルマークです

- 山武 山武商会 山武コントロールプロダクト
- 山武エキスパートサービス 山武フレンドリー
- 山武ケアネット 安全センター イー・エス・ディ
- 熊本安全センター セキュリティフライデー
- 原エンジニアリング 金門製作所 太信
- ロイヤルコントロールズ テムテック研究所

販売店